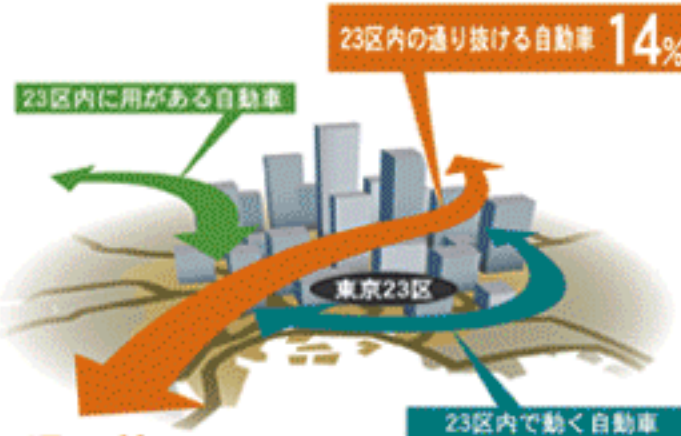


## 首都圏の交通問題

### 慢性的な渋滞が発生



首都圏では、東京都心部に自動車交通が集中しています。都心へ集中する放射道路に対し、環状道路の整備が立ち遅れていることが原因と考えられます。



通り抜けするだけの自動車が多いことが、問題です。

### 東京23区の西部地域では

南北方向の交通が環状7号線と環状8号線に集中しています。



### 交通が集中することにより

大気汚染が深刻です。



### 交通渋滞を避けるために

通り抜け自動車が生道路に侵入しています。



### 慢性的な渋滞が発生

環状7号線、環状8号線では慢性的な渋滞が発生し、日常的に用賀から大泉まで1時間以上もかかっています。



## 外環の整備効果

道路の安全性や円滑性、利便性が向上。大気汚染の改善や経済効果が期待できます。

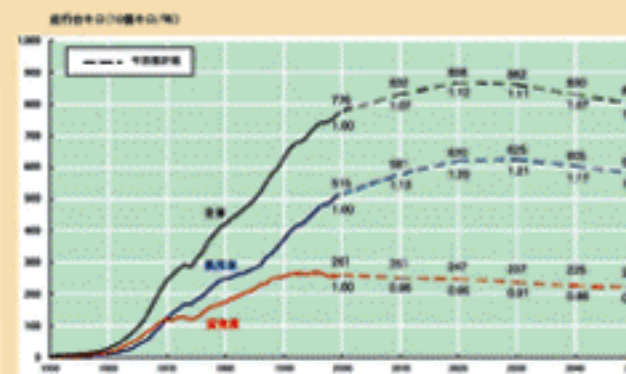
### 1 安全で円滑な幹線道路網の形成

環状道路が整備されると都心に集中していた交通が分散されます。これにより、都心部の交通量が減少し、走行速度がアップすると見込まれます。



### 自動車走行台キ口の推移

全国の将来人口は2006年にピークを迎え、その後減少していくと推計されていますが、自動車の走行台キ口の変化については、自動車の保有台数や免許保有者数、国内総生産額(GDP)の推移から2020年頃にピークを迎え、緩やかに減少していくものの、2050年でも現在よりも交通量は多いと見込まれます。



### 外環を利用する交通の内訳

外環の交通の内訳としては、地元(7区市)関連交通は約1割程度になると見込まれます。

また、地元(7区市)関連以外の交通としては、埼玉南部と神奈川間の交通が約2割、北関東と神奈川間の交通が約2割を占めています。

